



竹の里だより



2学期末に学校アンケートを保護者・教職員・児童を対象に実施致しました。その結果をまとめましたのでお知らせします。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。
 (小数点以下四捨五入のため、4観点の合計は100%にはなっていません)

1 アンケートの集計結果

保護者 質問項目	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
お子さんは、楽しい学校生活を送っていますか。	52	45	4	0
お子さんは、進んで考えたり表現したりして、学習していると思いますか。	28	57	12	2
お子さんは、ご家庭で進んで読書に取り組んでいますか。	13	28	38	21
お子さんは、ご家庭で自分の思いや考えを進んで伝えていますか。	38	55	6	1
お子さんは、毎日家庭学習（漢字・計算・音読など）に取り組めていますか。	47	41	9	3
お子さんは、相手や場所にふさわしい言葉づかいができますか。	16	66	18	0
お子さんは、家庭での約束を守っていますか。	16	72	10	1
お子さんは、明るく元気な挨拶ができますか。	26	57	16	1
お子さんは、友達のよさを認め、友達を大事に思いながら学校生活を送っていると思いますか。	43	57	0	0
お子さんは、日頃から体を動かし、進んで遊びやスポーツに取り組んでいますか。	43	43	13	2
お子さんは、いじめをされたり見たりしたときに、相談をしますか。	26	60	13	1
お子さんに、よいところを伝えていますか。	27	63	10	0
お子さんは、家庭で歯を磨く習慣が身に付いていますか。	50	40	9	1
お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんを大切にして、規則正しい生活ができますか。	41	42	16	1
学校だより、学級だより、ホームページ等で学校の様子がよく分かりますか。	20	70	11	0

教職員 質問項目	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
子どもたちは、学校で楽しく活動していますか。	24	72	4	0
子どもたちは、進んで考えたり表現したりして、主体的に学習していますか。	13	75	13	0
子どもたちは、帯タイムなどを活用し、進んで読書に取り組んでいますか。	24	52	24	0

子どもたちは、話し合い活動に進んで取り組み、自分の考えを広めたり深めたりすることができますか。	16	84	0	0
子どもたちは、毎日家庭学習に取り組めていますか。	13	75	13	0
子どもたちは、相手や場所にふさわしい言葉づかいができますか。	0	44	56	0
子どもたちは、学校のきまりや社会のルールを守っていますか。	4	88	8	0
子どもたちは、明るく元気な挨拶ができますか。	12	40	48	0
子どもたちは、友達のよさを認め合い、友達を尊重しながら学校生活を送っていますか。	24	72	4	0
子どもたちは、日頃から体を動かし、進んで遊びやスポーツに取り組んでいますか。	13	75	13	0
子どもたちは、いじめをされたり見たりしたときに、相談をしますか。	21	75	4	0
子どもたちに、よいところを伝えていますか。	28	68	4	0
子どもたちは、歯を磨く習慣が身に付いていますか。	4	74	13	9
子どもたちは、早寝・早起き・朝ごはんを大切にして、規則正しい生活ができますか。	4	58	38	0
学級だより、ホームページ等で学校の様子を発信していますか。	12	28	48	12

児童 質問項目	そう思う	大体 そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない
クラスで、一緒に勉強したり遊んだりするのは楽しいですか。	74	20	4	2
授業中は、よく考え、進んで発表していますか。	33	41	21	5
学校でも、お家でも、進んで読書に取り組んでいますか。	33	28	27	12
授業の中で、友達と進んで話し合うことができていますか。	56	34	8	2
毎日、宿題を忘れずにできていますか。	60	27	9	4
友達や家族、地域の方に丁寧な言葉づかいで話していますか。	53	39	6	2
学校のきまりやクラスの約束、お家の約束を守っていますか。	51	40	8	1
明るく元気なあいさつができますか。	47	34	14	5
友達のよいところを見つけ、友達のことを大事に思いながら、仲よく活動していますか。	70	24	5	1
学校や放課後に体を動かし、進んで遊びやスポーツに取り組んでいますか。	61	23	11	5
いじめをされたり見たりしたときに、どの先生でも相談してよいことを知っていますか。	72	19	6	3
自分には、良いところがあると思いますか。	49	35	12	4
食事の後、歯をしっかりと磨くことができますか。	59	29	9	3
早寝・早起き・朝ごはんができますか。	45	35	15	5
お家の人に、連絡帳や学校のおたよりを見せてていますか。	64	23	7	6

今回のアンケート結果を振り返り、学校・家庭・地域と連携して、竹の里小学校の子どもたちの成長を支えていけるよう、取組を進めていきます。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。

2 良かった点

自己肯定感を高めていくために

質問項目	そう思う	大体 そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない
お子さんに、よいところを伝えていますか。（保護者）	27	63	10	0
子どもたちに、よいところを伝えていますか。（教職員）	28	68	4	0
自分には、良いところがあると思いますか。（児童）	49	35	12	4

上記の質問に対して、保護者・教職員の9割以上、児童の8割以上が肯定的な回答をしています。国の調査では、自己肯定感が高い人ほど、自分のことも相手のことの大切にできる傾向が高いそうです。また、物事に粘り強く挑戦したり、自分の考えをはっきり主張したりすることもよくできるそうです。反対に自己肯定感が低いと、自分に自信がもてなくなったり、少しの失敗でくじけてしまったりする傾向が高くなるそうです。学校では、子どもたちがたくましく生きていくために、自己肯定感を高めることが必要だと考えています。一人一人が「自分にはよいところがある。」と自分に自信をもてるようになってほしいと願っています。その実現に向けて、教職員はもちろん、子ども同士でも互いのよさを積極的に認め合える関係づくりを進めているところです。家庭や地域でも、それぞれの関わりの中で、引き続き子どもたちのよさを認めていただけるとありがたいです。



話し合い活動の充実

質問項目	そう思う	大体 そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない
お子さんは、ご家庭で自分の思いや考えを進んで伝えていますか。（保護者）	38	55	6	1
子どもたちは、話し合い活動に進んで取り組み、自分の考えを広めたり深めたりすることができますか。（教職員）	16	84	0	0
授業の中で、友達と進んで話し合うことができていますか。（児童）	56	34	8	2

上記の質問に対して、保護者・教職員・児童ともに9割以上が肯定的な回答をしています。本校では、『ひたむきに学び、高め合う集団』を目指し、それぞれ日々の学習の中で《私の問い合わせ》を活かしたペアやグループでの話し合い活動を学習の中で重要視しています。また「話し合うこと」が、学びの本質と強く結び付いていくよう「話し合うことの意味や目的、価値を共有すること」「自分ごととして受け止めて活動に取り組めるようにすること」を大切にしています。これからも児童が自分と異なる様々な意見や考え方と出会い比較・検討することを通して、それが考えを広めたり深めたりすることや、友達と話し合いをしながら学習を深めていく楽しさや面白さを感じることができるような指導を積み重ねていきたいと思います。



友達の良さを認め、大事に思いながら学校生活を送る

質問項目	そう思う	大体 そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない
お子さんは、友達の良さを認め、友達を大事に思いながら学校生活を送っていると思いますか。(保護者)	43	57	0	0
子どもたちは、友達の良さを認め合い、友達を尊重しながら学校生活を送っていますか。(教職員)	24	72	4	0
友達のよいところを見つけ、友達のことを大事に思いながら、仲よく活動していますか。(児童)	70	24	5	1

上記の質問に対して保護者・教職員・児童ともに9割以上が「よく出来ている」「大体できている」と回答しています。大変素晴らしいことです。日々の竹の里小学校の子どもたちの様子を見ていると「互いのよさを見つけて自分のよさを生かす姿」「協力しながら問題解決をし、みんなと力を合わせて一つのものをつくり上げる姿」「困っている人に手を差し伸べる姿」など素敵なお姿がたくさん見られます。教職員も日常生活や授業の中で子どもたちの良さや小さな成長を見つけて具体的に褒めることを大切にしています。友達の気持ちを想像したり友達の立場に立って考えてみたり、『自分と同じように友達のことも大切』にできる子どもたちが竹の里小学校にはたくさんいるのです。引き続き子どもたちが安心して学校生活を過ごすことができるよう授業や行事の中で自己存在感や充実感を感じられる心の居場所を提供したり、主体的・共同的に取り組む絆づくりの場を保障したりすることを大切にしていきます。

3 今後の課題と改善点

相手や場所にふさわしい言葉づかい

質問項目	そう思う	大体 そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない
お子さんは、相手や場所にふさわしい言葉づかいができますか。(保護者)	16	66	18	0
子どもたちは、相手や場所にふさわしい言葉づかいができますか。(教職員)	0	44	56	0
友達や家族、地域の方に丁寧な言葉づかいで話していますか。(児童)	53	39	6	2

上記の質問に対して保護者・児童の8割以上が肯定的な回答をしていただいている。一方で教職員の5割以上は否定的な回答をしておりその大きな差が気になります。言葉は自分の気持ちを伝えるとともに、相手のことをより深く理解することで人と人をつなぐ大切なものです。適切な言葉遣いは長い時間をかけて家庭生活や学校生活、社会生活の中で人と人のかかわりで培われていくものです。そして、発達段階や状況に応じて、丁寧語や尊敬語を使えるようになることが求められます。学校では、子どもたちが集団の中で安心して話ができる環境を整えたり、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えたりできる話し方について引き続き指導していきます。



竹の里小学校 HP

